

新規登録者養成カリキュラム一覧と試験概要

次の研修A～Gを養成のカリキュラムとする。養成カリキュラムを修了した者は、研修修了者登録がされ、登録試験の受験資格を得る。また、スキルアップ研修（任意）に参加することができる。新規養成研修は、知床五湖登録引率者審査部会が募集、実施、管理を行う。

研修A －制度概要・危機管理研修		担い手：登録引率者審査部会事務局
座学（半日）	<u>オリエンテーション</u> <ul style="list-style-type: none"> 試験と登録フローの説明とカリキュラム概説、 制度概要 利用調整地区制度の目的（自然環境への負荷軽減、安全管理） 知床五湖運用方針の解説 知床五湖登録引率者の役割 <u>危機管理講習</u> <ul style="list-style-type: none"> 知床五湖における引率のリスク リスク回避のための備え 	

研修B －知床五湖におけるヒグマ対処法の研修		担い手：知床財団
座学（半日）	知床五湖におけるヒグマの現状、ヒグマの生態・行動特性 遭遇回避、遭遇時の危機回避、持ち物・装備	
実地（半日）	危険な遭遇を回避するための対処法、遭遇時の危機回避の方法 ヒグマ撃退スプレアの試射、ヒグマの痕跡の見分け方	

研修C －知床五湖の利用コントロール運用に関する研修		担い手：知床ガイド協議会
実地（半日）	ヒグマ活動期レクチャー受講 ヒグマ活動期地上遊歩道踏査 <ul style="list-style-type: none"> 運用マニュアルに基づく制度の確認 地理的、時間的な感覚の把握 注意ポイント等の確認 ※実地研修の際にヒグマが目撃された場合は引き返し、別日実施する。	
座学・実地（半日）	ヒグマ遭遇時マニュアルを中心とした運用ルールの解説 無線連絡に関する講義と実技 無線を用いた遭遇時シミュレーション 演習のふりかえり及びインターン研修の諸注意説明	

※研修D以降の開始は、研修A, B, Cの修了を前提とする。

研修D －インターン研修1（ヒグマ活動期の知床五湖地上遊歩道ツアー同行）		担い手：既存登録引率者
実地（4回以上）	既存登録引率者が行う知床五湖遊歩道大ループツアーに4回以上同行 研修実施毎にレポート作成・提出	

研修E －ヒグマ遭遇ケーススタディミーティングへの参加	
座学 (6月・10月、 各2時間)	ヒグマ遭遇事例の共有・検討 ルールや運用の意見交換 ※既存登録引率者と共通のカリキュラム。

研修F －インターン研修2（知床五湖フィールドハウス受付業務補助） 担い手：知床財団、知床五湖フィールドハウス	
実地 (1日)	知床五湖フィールドハウスでの受付対応、ツアー管理、認定手続きを体験。研修後にレポート作成・提出

研修G －自主引率の実施 協力：既存登録引率者	
実地 (計8回以上)	<p>下記①及び②について、一般者2名以上を自主引率 自主引率実施毎にレポート作成・提出 ※①または②のうち必ず1回は8名以上を引率すること。</p> <p>①ヒグマ活動期における自主引率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知床五湖以外のフィールドでの引率を4回以上実施 ※知床半島内（フレペの滝・ポンホロ沼・羅臼湖・羅臼岳）を想定。他の地域を引率する場合は事前に相談すること。 <p>②植生保護期における自主引率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知床五湖地上遊歩道（大ループ）において引率を4回以上実施 ・うち2回は既存登録引率者1名が同行し、引率技術を指導、評価

スキルアップ研修（任意） －実地踏査・搬送訓練 担い手：ウトロ消防、知床財団、知床五湖フィールドハウス	
実地 (1日)	実地踏査－遊歩道外の地理地形の習得 搬送訓練－傷病等緊急時の対応訓練、消防との連携

※知床五湖地上遊歩道は、ヒグマ出没や暴風雨など様々な理由により緊急閉鎖される可能性がある。実地研修等は、期間中に終えるよう計画的に実施すること。

※事故発生時の対応のため、賠償責任保険への加入や、傷害事故に対する補償態勢を整えたうえで自主引率を行うことが望ましい。

【研修D、Gのツアー中にヒグマ遭遇によりツアー中止となった場合】

研修者のグループがヒグマに遭遇した場合、研修実施と認定される。他グループがヒグマと遭遇して中止となった場合、研修者のグループが第3湖（H地点）まで到達していれば研修実施と認定される。

【地上遊歩道の改修工事に伴う研修期間の短縮について】

本年度は、地上遊歩道の改修工事のため10月1日より大ループコースが閉鎖される予定である。この場合、研修Gは9月30日までを実施期間とする。

【所定のインターン、自主引率の回数が実施できなかった場合】

研修D、Gについては実施回数の半分（小数繰り下げ）までを次年度に繰り越せる。その他の研修は繰り越せず、次年度再履修することとする。

【自主引率研修の集客について】

集客は新規養成者自ら行うこと。ただし、集客が困難である場合は知床ガイド協議会、既存登録引率者等に相談し、協力を要請すること。

【研修修了者登録】

研修修了者は有効期間3年間（研修修了当該年を含む受験資格3回）の研修修了者登録がされる。研修修了者登録がなされた者は、以下の要領で登録試験を受験することができる。

引率者登録試験1（筆記） 翌シーズン引率希望者全員が受験	
1次試験 （筆記）	<p><u>受験資格</u></p> <ul style="list-style-type: none">・当該年度の新規養成研修の修了登録をされた者・当該年度の登録引率者のうち、当該年度のシーズン前・中・後の研修の受講者・過年度の引率登録の未更新者のうち、当該年度のシーズン中・後研修の受講者・過去3ヵ年の新規養成研修修了者のうち、当該年度のシーズン中・後研修の受講者 <p><u>試験内容</u></p> <ul style="list-style-type: none">・制度、ルール、ヒグマ生態、地理、用具等について択一形式で30問を出題。27問以上の正答で合格。 <p>試験料：3,000円</p>

引率者登録試験2（実地） 当該年度の引率規定回数20回以上の登録引率者は免除	
2次試験 （実地） *閉園後に実施	<p><u>受験資格</u></p> <ul style="list-style-type: none">・当該年度の引率者登録試験（筆記）合格者・翌年度のシーズン前・中研修を受講すること <p><u>試験内容</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ヒグマ遭遇回避術、避難時行動等について審査員3名がそれぞれ採点し、その合計を評価。・審査は、予め設定された確認項目及び試験全般における姿勢や対応の総合評価項目について、減点方式で採点し、8割で合格。 <p>*地上遊歩道の改修工事期間と重複するため、実施場所が変更となる可能性がある。</p>